

事務事業名	市道禪定角谷線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉	所属G	道路改良G	課長名	松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備	担当者名	石原 裕太	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2462
	目的: 対 象	市民	意 図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算科目	会計: 款 大事業 大事業 0 1 4 0 0 3 業名 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 0 2 業名
	基本事業名	〈034〉道路の新設・改良	市道道路整備事業	交付金道路整備事業		
目的: 対 象	道路利用者	意 図	安全で便利に移動できる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H26 年度 ~ R4 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	本路線は主要地方道出雲奥出雲線から分岐し、出雲市市道を経て一般県道神原木次線へ接続する道路である。地元住民の生活道路、市民バス運行経路であると共に、出雲市方面へアクセス道路として重要な路線となっている。 しかし、幅員が狭くカーブが連続し見通しが悪いことから非常に危険な状況となっている。本事業で狭隘箇所の解消と、視距の改善を行い、道路利用者の安全性と利便性を向上を図る。  全延長 960m 幅員 5m

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績(R2年度に行った主な活動)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動)			
		・道路改良工事 ・舗装工事 ・支障物件補償	・道路改良工事 ・舗装工事 ・支障物件補償			
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 整備延長	m	615	560	389	260
	イ 供用延長(累計)	m	245	245	620	880
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	市道及び市道利用者	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 整備計画延長	m	960	960	960	960
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%	25.5	25.5	63.0	88.0
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
【地方債】過疎債 【現年分】 工事費 48,145千円 補償費 8,616千円 事務費 719千円 合計 57,480千円	財源内訳	千円	4,086	45,561	32,298	30,780
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	3,100	36,000	25,100	24,200
	その他	千円	40			
	一般財源	千円	6	145	82	20
	事業費計(A)	千円	7,232	81,706	57,480	55,000
	人件費	人	2	2	2	
	正規職員従事人数	時間	200	400	400	
	延べ業務時間	千円	866	1,696	1,683	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,098	83,402	59,163	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
国庫交付金の配分が縮減したことから、事業費の確保が困難な傾向にある。県が行う(一)出雲奥出雲線改良工事による通行規制が長期にわたっており、迂回路となっている本路線の施工に制約がある。	事業期間の延長により単年度事業費の縮減を図った。施工時期・方法について、県との調整を図った。	通勤や交流センターへのアクセスのための生活路線であり、また市民バス運行路線でもあることから、早期全線完了が望まれている。

事務事業名	市道禅定角谷線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	交通量や受益状況から道路規格を決定しているため、向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	狭隘な生活路線を整備することにより交通の円滑化や安全性の向上に寄与することから、事業中止による住民生活への影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	設計測量については業務委託をしているが、用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					